

# 「ER G」活動広がる

## 従業員主導でD&I推進

金融界



ER G 勤務地や日常の職場を超えた従業員同士のつながりを作り、知識や経験を共有し学び合う自発的な活動。多様性を受け入れ、尊重する企業文化を育て、従業員自身の成長やエンゲージメントの向上が期待される。

て、全国の職員116人が参加している。

1月には活動報告会を開催。「障がい者の働きがい、働く環境」を考えるER Gでは、「聴覚障がいのある人にも情報を届けたい」と損保ジャパンのCMに字幕をつけたことを報告。担当者は「障がいのあるなどでカテゴリーライズすることのない組織へ一人一人が身近にできることをして空気を变えていきたい」と話す。

金融界で、共通の特性や人生経験、課題認識を持つ従業員のネットワーク「ER G」(Employee Resource Group)は、活動を通じて、みずほフィナン

シャルグループ(FG)や損害保険ジャパン、アクサ生命保険、AIGジャパンなどが推進している。みずほFGでは、女性活躍推進に向けて活

動をするグループやテックコミュニティーのほか、コーチングなどのコミュニケーションスキル向上、データ活用に関する知見・ノウハウ共有など、さまざま

まなテーマでER Gを展開。国内外の参加者は数千規模にまで拡大している。損保ジャパンには、子育てや介護、LGBTといった11のER Gがある。21年度から会

社公認となり、全体統括に人事担当役員、事務局統括に人事部長、11人の部店長級社員が各ER Gにメンターとして就き、相談に乗るなど活動をサポート。業務時間内の活動とし